

「修太展に寄せて」

北海道 札幌市在住 大東美奈子

ひょんな事から、修太さんの作品に出会ったのは数か月前、といっても十数枚のポストカードを觀せて頂いたのですが、何故か懐かしく、その風景の中に溶け込んでしまうのです。ある時はエジプトで駱駝に乗り、またあるときはパラライカを奏でている。日常の慌ただしさに忘れかけていたホッとする瞬間、空間を気付かせてくれる。そんな優しさ、暖かさに心が癒されるのです。新作の「サンボールの村」はある詩を思いおこさせます。一柔らかな春の風に誘われてわたしも重たい外套を脱ぎすて、つかれた羽をはばたきながら、私の花を探しに行きたい - 小倉 勢以 -



この明るくて爽やかな息吹きを、早く身近に感じたい、そして修太さんにお会いしてみたいと思っています!そして、私の心のなかにある数々の疑問を解き明かしてみたいのです。札幌での初めての個展を、心から待ち遠しく思いながらドキドキしています!



「修太先生の ヒゲ物語」

大リーガーに転身のイチロー選手が、渡米を機に“ヒゲ”をのびし始めた。精悍な顔つきで、メジャーリーグの大男たちを慌てさせている姿は痛快!で…日本時代と何かが変わった。

どこか心も自由になった感じで…。

かくして…“修太ヒゲ物語”も起源は、パリ渡航がきっかけらしい。20代半ばだった当時の修太先生は、

少しでも大人っぽく見せたい思いと、

写真のように口の周りは黒々…。

現地の人とほぼ区別される事なく、水

にも入れてもらえたり! 髭のモデルを

戻ってからも、タクシーの運転手さん

様目に、降りるまで日本語を喋ること

修太先生。最近…その髭に、ちらほ

りはじめた…。考え事をする時、ふと、

先生。「描くことの喜びも苦悩も」…あの“ヒゲ”はきっと! 知っているに違いない。



明治のダンディズムに憧

アラブでは、髭のお陰で

タバコの回し飲みの仲間

頼まれたり…。日本に

が“外人”と思ひ込んで

ができなかった心優しい

ら大人の風合い? が加わ

ヒゲに手をやる癖の修太

「ぼんじゅーる修太通信」事務局(いしざき)



「北の国でのサム・ホール story…?」

片手で、掴めるくらいの絵のサイズを“サムホール/通称 SM”といいます。一点の絵を通じて様々な出会いが生まれる個展会場…

2002年 雪の季節、北の国において、どんな出会いが待っているのでしょうか? 手のひらにそっと載せるような、心からの感動! とエネルギー! を届けられたら…。



お知らせコーナ

今後の「修太個展」予定

- '02 2/28~3/6 日… 東急・渋谷本店
- '02 4/30~5/6 日… 福岡三越
- '02 7/17~7/23 日… 神戸阪急
- '02 9/10~9/16 日… 広島そごう
- '02 11月下旬 … 仙台三越(予定)

